

2022年度(2023年3月期) 第2四半期 決算説明会

2022年 10月 28日
セイコーエプソン株式会社



■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

- 本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。
実際の業績に影響を与えうる要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新製品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競合、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。
なお、業績などに影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。

■ 事業利益について

- 事業利益は、売上収益から 売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。
連結包括利益計算書上に定義されていない指標であるものの、日本基準の営業利益とほぼ同じ概念であることから、連結財務諸表の利用者がエプソンの業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しています。

■ 本説明資料における表示方法

- 数値：表示単位未満を切り捨て
- 比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入
- 年度：断りが無い限り、会計年度を示す

- ご説明のポイント
- 第2四半期実績
- 2022年度通期業績予想・株主還元
- トピックス



■ 第2四半期実績(前年同期比)

売上収益 3,352億円(+668億円)、事業利益 268億円(+13億円)、四半期利益 237億円(+47億円)

- 供給制約の継続、部材費・物流費の高騰によるマイナス影響があった中、需給バランスに応じた価格対応を実施。
売上収益、事業利益、四半期利益で為替変動によるプラス影響を受ける

※7/29前回予想の前提となる社内計画に対しては、売上収益は計画並、事業利益は約60億円上回る。主にビジュアルコミュニケーションが上振れ

■ 2022年度 通期業績予想(7/29前回予想比)

売上収益 13,900億円(+300億円)、事業利益 1,000億円(据え置き)、当期利益 820億円(+80億円)

- 前回予想に対して、供給制約の改善遅れによる販売数量の下方修正や、中国市場のさらなる減速を織り込む
- 価格対応や費用コントロールを継続することで、売上収益は上方修正、事業利益は据え置く
- 当期利益は第2四半期の為替差益などを受け上方修正

- ご説明のポイント
- **第2四半期実績**
- 2022年度通期業績予想・株主還元
- トピックス



2022年度第2四半期決算 | ハイライト

(億円)	2021年度		2022年度		対前年同期	
	Q2実績	%	Q2実績	%	増減額	増減率
売上収益	2,684		3,352		+668	+24.9%
事業利益	254	9.5%	268	8.0%	+13	+5.4%
営業利益	244	9.1%	279	8.3%	+34	+14.2%
税引前利益	243	9.1%	346	10.3%	+103	+42.4%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	190	7.1%	237	7.1%	+47	+24.7%
EPS*1 (円)	54.93		68.87			
為替レート (円、指数)	USD	¥110.08	¥138.30			
	EUR	¥129.77	¥139.28			
	その他通貨*2	100	118			

為替影響額 (億円)	USD	EUR	その他通貨 合計	合計
売上収益	+241	+35	+164	+440
事業利益	-79	+22	+74	+17

*1 EPS:基本的1株当たり当期利益

*2 その他通貨の各レートを為替ボリュームに応じて
加重平均した値について、前年同期を100とした指数

2022年度 第2四半期実績 | プリンティングソリューションズ(1)

プリンティングソリューションズ	2021年度 Q2実績	2022年度 Q2実績
売上収益	1,832	2,155
セグメント利益	283	186
セグメント利益率	15.5%	8.7%

オフィス・ホームプリンティング	2021年度 Q2実績	2022年度 Q2実績
売上収益	1,298	1,511
オフィス・ホームIJP(SOHO・ホームIJP)	1,006	1,210
オフィス・ホームIJP(オフィス共有IJP)	123	130
その他*	168	171
事業利益	187	101
事業利益率	14.5%	6.7%

*スキナー、SIDM、LP、オフィス製紙機など

(億円)

増減額	内為替 影響額	増減率
+322	+286	+17.6%
-97	-17	-34.2%

増減額	内為替 影響額	増減率
+213	+202	+16.4%
+203		+20.2%
+7		+5.7%
+2		+1.7%
-86	-34	-45.9%

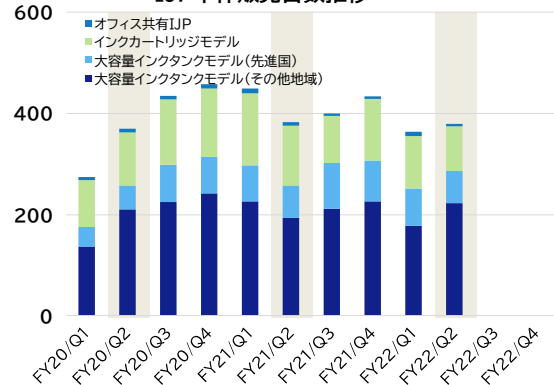
■ プリンティングソリューションズ

- 半導体調達難で供給制約がある中、需給バランスを踏まえた価格対応などで増収、部材費・物流費の高騰などにより減益

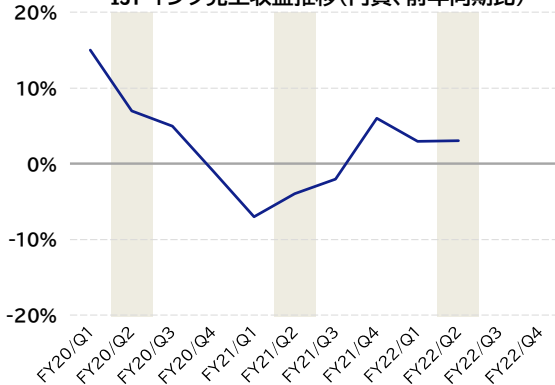
■ オフィス・ホームプリンティング

- IJP本体は、販売数量は前年同期並になったものの、価格対応や為替影響により増収
- IJPインクは大容量インクボトルの販売増加
- 部材費、物流費の高騰影響に加え、ドル高によるマイナス影響を受けて減益

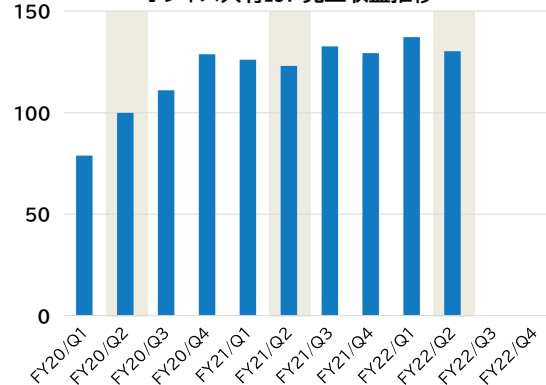
(万台) IJP本体販売台数推移



IJPインク売上収益推移(円貨、前年同期比)



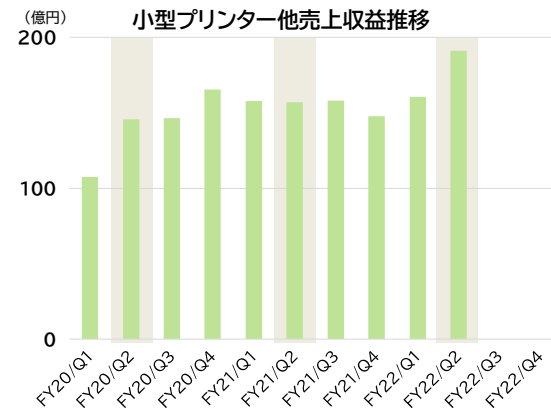
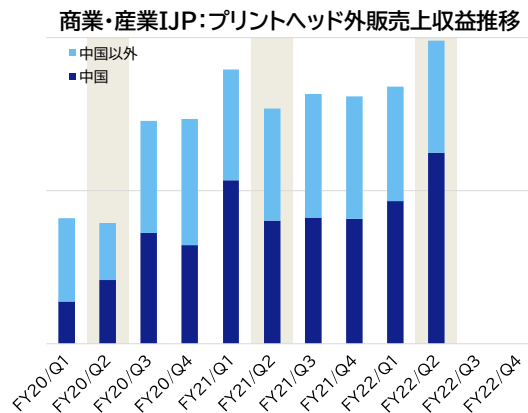
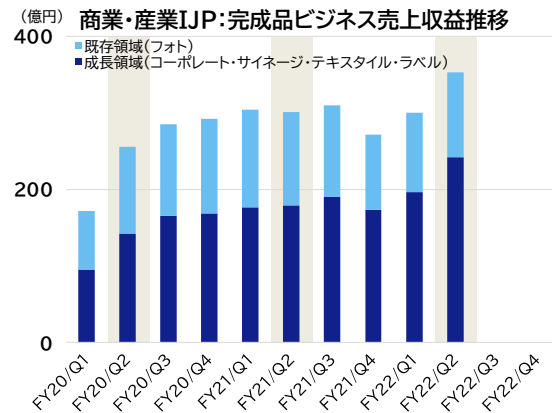
(億円) オフィス共有IJP売上収益推移



商業・産業プリンティング	2021年度 Q2実績		2022年度 Q2実績		(億円)		
	売上収益	増減額	内為替影響額	増減率	増減額	内為替影響額	増減率
売上収益	534	+108	+84	+20.4%			
商業・産業IJP	377	+74		+19.8%			
小型プリンター他	156	+34		+21.8%			
事業利益	96	-10	+16	-11.3%			
事業利益率	18.0%						

■ 商業・産業プリンティング

- 商業・産業IJPの完成品ビジネスは、中国での市場冷え込みや本体の供給制約があったものの、成長領域の販売伸長
- プリントヘッド外販ビジネスは、輸出も手掛ける中国の印刷機メーカーの引き合いも強く増収
- 小型プリンター他は、小売業界や飲食業界などの需要は強く、供給制約の改善が進み増収
- 事業利益は、フォト領域における顧客のインク調達調整や、完成品ビジネス拡大に向けた費用投下の継続、部材費・物流費の高騰などにより減益



ビジュアルコミュニケーション	2021年度 Q2実績	2022年度 Q2実績	(億円)		
			増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	399	635	+235	+91	+59.1%
セグメント利益	47	127	+79	+11	+169.0%
セグメント利益率	11.8%	20.0%			

◆ プロジェクターの販売動向^{*1}

	2021年度 Q2実績	2022年度 Q2実績
売上収益(円貨)	+7%	+60%
売上収益(現地通貨)	+1%	+37%
販売台数	-2%	+22%

*1 社内管理値に基づく指標
伸長率は前年同期比

マニュファクチャリング関連 ・ウェアラブル	2021年度 Q2実績	2022年度 Q2実績	(億円)		
			増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	458	572	+113	+67	+24.7%
マニュファクチャリングソリューションズ ^{*2}	74	84	+10		+13.8%
ウェアラブル機器	80	93	+13		+16.7%
マイクロデバイス他	268	351	+83		+30.9%
PC	43	53	+10		+23.1%
事業間売上収益	-7	-11	-3		-
セグメント利益	56	94	+37	+25	+67.5%
セグメント利益率	12.2%	16.4%			

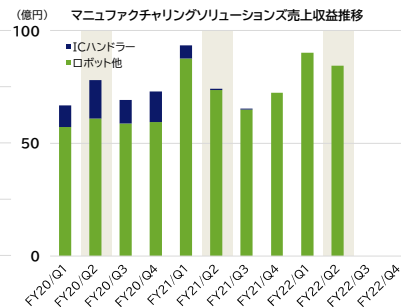
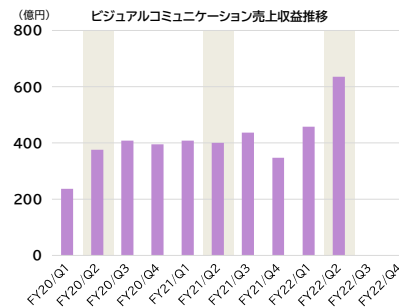
*2 ICハンドラー事業は2021年4月に譲渡

■ ビジュアルコミュニケーション

- 欧米の教育向けを中心に需要は好調、部材調達難の改善により、受注残の解消が進み販売台数が増加
- モデルミックスの改善や価格対応、為替影響により増収・増益

■ マニュファクチャリング関連・ウェアラブル

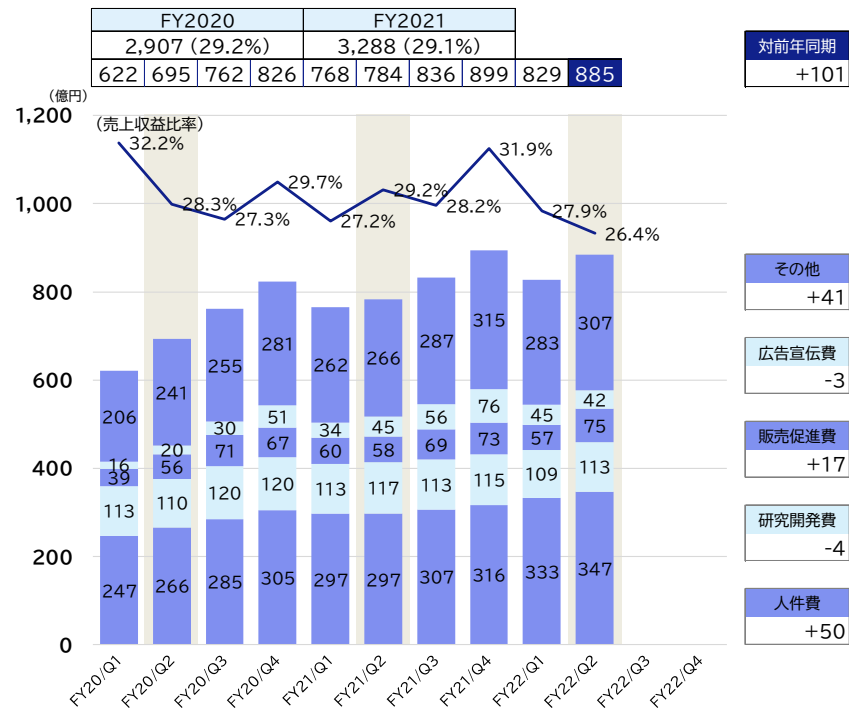
- マイクロデバイス他が好調で増収・増益
 - ・マニュファクチャリングソリューションズは、ロボットの供給制約がある中、自動車や医療向けの案件獲得が進み増収
 - ・ウェアラブル機器は、国内向けウォッチを中心に増収
 - ・マイクロデバイス他は、スマートフォン向けなど一部民生市場が軟調だったものの、車載向けなど幅広い用途で需要は旺盛



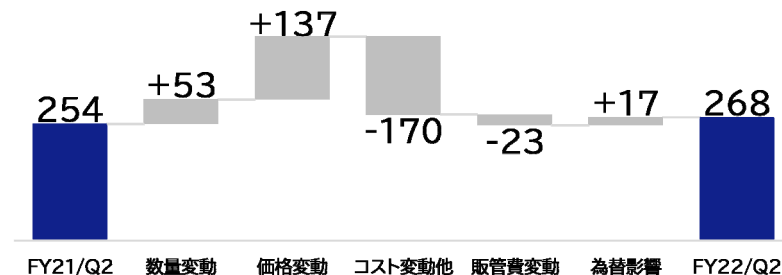
第2四半期実績 | 販売費及び一般管理費推移・事業利益増減要因

販管費変動：主に為替影響(+78億円)により増加

販売費及び一般管理費推移



事業利益の変動要因 (億円)



数量変動

+ プロジェクター、マイクロデバイス、大容量インクタンクモデル、プリントヘッド、小型プリンター、ウオッチなど
 - IJPインクカートリッジ、商業・産業IJPフォト領域など

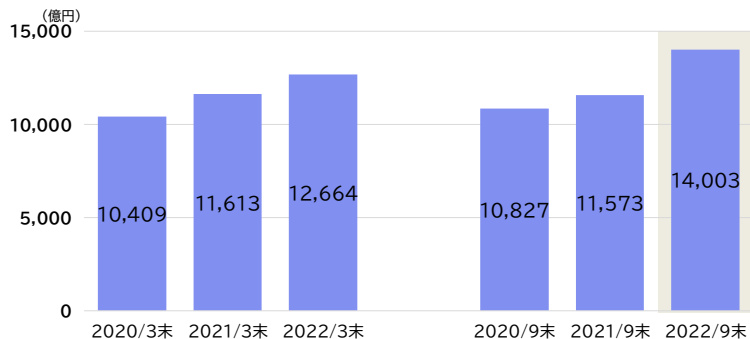
価格変動

+ オフィス・ホームIJP、プロジェクター、マイクロデバイス、商業・産業IJPなど

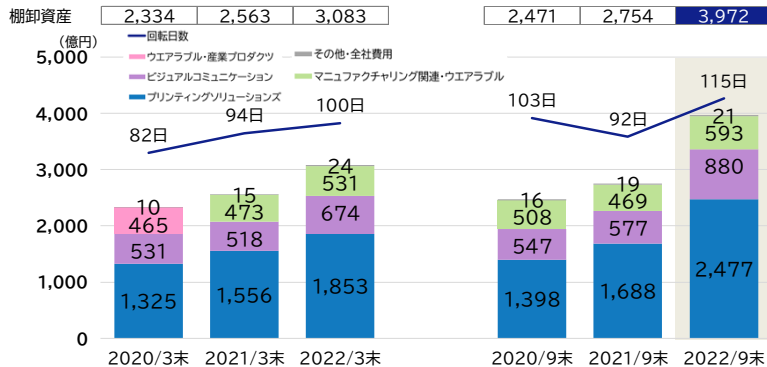
コスト変動他

- 部材費・物流費の上昇、在庫影響など

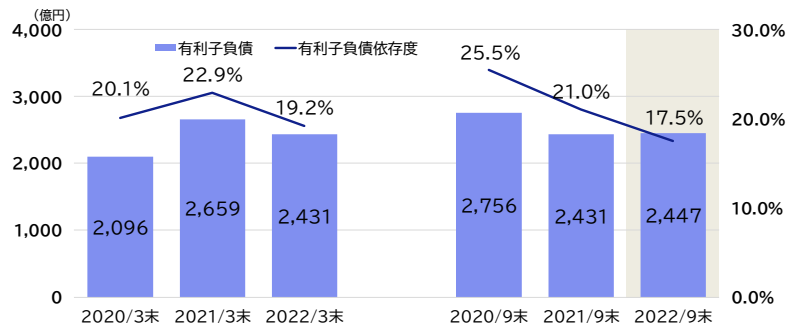
資産合計



棚卸資産・回転日数



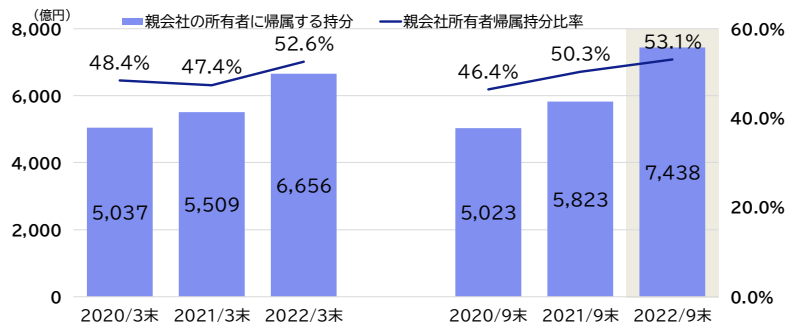
有利子負債・有利子負債依存度



ネットキャッシュ



親会社の所有者に帰属する持分・親会社所有者持分比率



*回転日数(3月末) = 連結会計期間末棚卸資産残高 / 連結会計期間末直前12ヶ月間の1日当たり売上収益
 *回転日数(9月末) = 連結会計期間末棚卸資産残高 / 連結会計期間末直前6ヶ月間の1日当たり売上収益

- ご説明のポイント
- 第2四半期実績
- **2022年度通期業績予想・株主還元**
- トピックス

2022年度 通期業績予想 | ハイライト

	2021年度		2022年度				増減額/増減比		
	(億円)	実績	%	7/29予想	%	今回予想	%	対前期	対7/29予想
売上収益		11,289		13,600		13,900		+2,610 +23.1%	+300 +2.2%
事業利益		896	7.9%	1,000	7.4%	1,000	7.2%	+103 +11.6%	- -
営業利益		944	8.4%	1,020	7.5%	1,080	7.8%	+135 +14.3%	+60 +5.9%
税引前利益		971	8.6%	1,050	7.7%	1,170	8.4%	+198 +20.4%	+120 +11.4%
親会社の所有者に帰属する 当期利益		922	8.2%	740	5.4%	820	5.9%	-102 -11.1%	+80 +10.8%
EPS* ¹ (円)		266.73		213.86		240.11			
為替レート (円、指数)	USD	¥112.37		¥131.00		¥137.00			
	EUR	¥130.55		¥135.00		¥138.00			
	その他通貨* ²	100		112		114			

*1 EPS：基本的1株当たり当期利益












*2 その他通貨の各レートを為替ポリュームに応じて加重平均した値について、前期を100とした指数

*3 USD/EURは1円の円高による年間影響額（億円）
その他通貨は1%の円高による年間影響額（億円）

第3四半期以降の 為替前提(円)	USD	141.00	為替感応度* ³ (億円)	USD	EUR	その他通貨 合計	年間為替 影響額見込み
		EUR	137.00	売上収益	-32	-14	-35
			事業利益	+7	-9	-17	+90

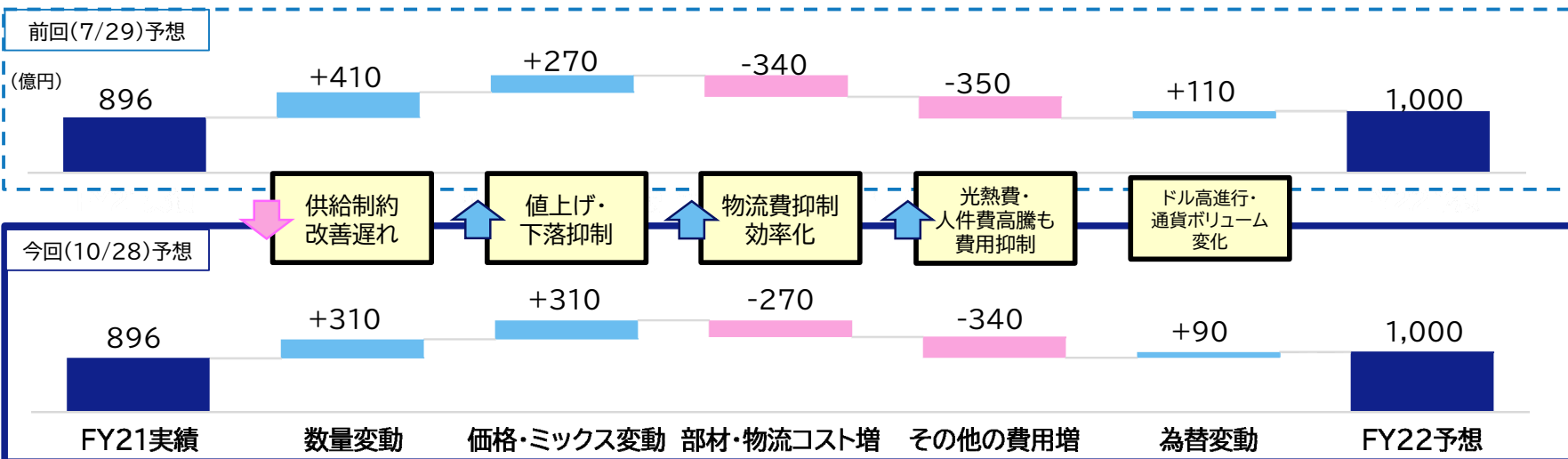
通期業績予想の前提変化(7/29前回予想比較)

- サプライチェーンの改善は進むが、下期には世界経済の減速リスクを織り込む
- FY22にチャネル在庫の適正化を進めていく前提に変わりはない
- 大容量インクタンクモデルは、供給制約がある中、多様な印刷需要を捉えている。引き続き、新興国に加え先進国での販売を強化

	FY21 下期	FY22 上期	FY22 下期	10/28通期業績予想の前提
需要			前回  ↓ 今回 	✓ インフレの継続による消費冷え込みリスク、地政学リスク、中国の景気減速など、世界経済の不透明感が高まる
供給制約				✓ 下期に供給制約の改善が進むという前提に変わりはない <ul style="list-style-type: none"> • IJPで半導体の調達難の改善に若干の遅れ • 物流混乱は想定以上に改善
コスト			前回  ↓ 今回 	✓ 部材高騰のペースは鈍化 ✓ 物流効率化などにより物流費の抑制が進む

< 前回予想からの変化 >

- IJPの供給制約は、改善に若干の遅れ
 - 販売価格は足元の状況を踏まえ、値上げ、価格下落抑制を見込む
 - 人件費や光熱費の増加を見込むものの、物流費効率化など費用抑制を継続
- ※ 供給数量を確保できない場合は、さらなる価格対応・費用コントロールを実施



2022年度通期業績予想 | プリンティングソリューションズ

プリンティングソリューションズ	(億円)					
	2021年度実績	2022年度7/29予想	2022年度今回予想	対前期増減額	対前期増減率	対7/29予想
売上収益	7,799	9,340	9,500	+1,700	+21.8%	+160
セグメント利益	1,064	1,030	1,030	-34	-3.3%	-
セグメント利益率	13.7%	11.0%	10.8%			

オフィス・ホームプリンティング	(億円)					
	2021年度実績	2022年度7/29予想	2022年度今回予想	対前期増減額	対前期増減率	対7/29予想
売上収益	5,663	6,770	6,890	+1,226	+21.7%	+120
オフィス・ホームIJP(SOHO・ホームIJP)	4,453	5,340	5,410	+956	+21.5%	+70
オフィス・ホームIJP(オフィス共有IJP)	511	620	670	+158	+31.0%	+50
その他*	698	810	810	+111	+15.9%	-
事業利益	730	650	670	-60	-8.3%	+20
事業利益率	12.9%	9.6%	9.7%			

*スキャナー、SIDM、LP、オフィス製紙機など

商業・産業プリンティング	(億円)					
	2021年度実績	2022年度7/29予想	2022年度今回予想	対前期増減額	対前期増減率	対7/29予想
売上収益	2,136	2,570	2,610	+473	+22.2%	+40
商業・産業IJP	1,515	1,780	1,800	+284	+18.8%	+20
小型プリンター他	620	790	810	+189	+30.5%	+20
事業利益	333	380	360	+26	+7.8%	-20
事業利益率	15.6%	14.8%	13.8%			

■ オフィス・ホームプリンティング

- ・オフィス・ホームIJPが、供給制約の改善遅れにより販売数量を前回予想から下方修正、需給バランスに応じた価格対応継続
- ・事業利益は、ドル高によるマイナス影響を受ける

■ 商業・産業プリンティング

- ・売上収益は為替影響により上方修正
- ・事業利益には、第2四半期の状況を踏まえ、マクロ環境のリスクなども織り込む

◆ 販売動向(社内管理値に基づく指標)		FY21実績	FY227/29予想	FY22今回予想
オフィス・ホームIJP	伸長率	+8%	+10%	+8%
本体販売数量	約、万台	1,670	1,840	1,800
内 大容量インクタンクモデル		1,160	1,330	1,330
内 SOHO・ホーム向けI/Cモデル		480	480	440
内 オフィス共有IJP		30	30	30
オフィス・ホームIJP	(円貨)	-2%	+7%	+8%
インク売上収益伸長率	(現地通貨)	-6%		

ビジュアルコミュニケーション			(億円)			
	2021年度実績	2022年度7/29予想	2022年度今回予想	対前期増減額	対前期増減率	対7/29予想
売上収益	1,590	1,980	2,180	+589	+37.1%	+200
セグメント利益	153	210	250	+96	+62.8%	+40
セグメント利益率	9.7%	10.6%	11.5%			

■ ビジュアルコミュニケーション

- 教育向けやスマートプロジェクターの強い需要は継続
- モデルミックス改善や価格対応を実施した第2四半期の状況を織り込む

◆ プロジェクターの販売動向^{*1}

	2021年度実績	2022年度7/29予想	2022年度今回予想
販売台数(約、万台)	170	190	190
伸長率	+2%	+9%	+9%

^{*1}社内管理値に基づく指標
伸長率は前年同期比

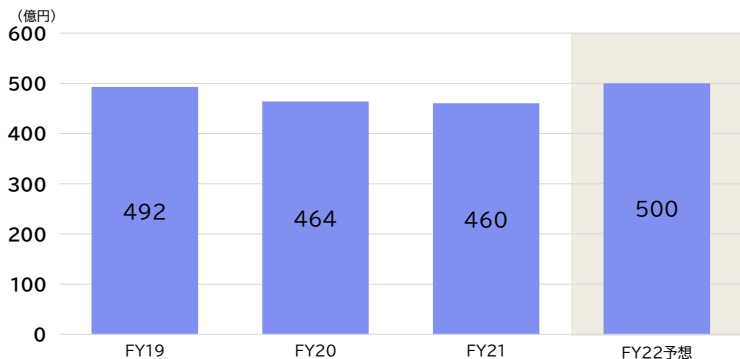
マニュファクチャリング関連 ・ウェアラブル			(億円)			
	2021年度実績	2022年度7/29予想	2022年度今回予想	対前期増減額	対前期増減率	対7/29予想
売上収益	1,919	2,320	2,260	+340	+17.7%	-60
マニュファクチャリングソリューションズ ^{*2}	305	340	330	+24	+8.2%	-10
ウェアラブル機器	346	370	370	+23	+6.8%	-
マイクロデバイス他	1,109	1,440	1,400	+290	+26.2%	-40
PC	189	200	200	+10	+5.3%	-
事業間売上収益	-30	-30	-40	-9	+29.9%	-10
セグメント利益	230	350	310	+79	+34.6%	-40
セグメント利益率	12.0%	15.1%	13.7%			

■ マニュファクチャリング関連・ウェアラブル

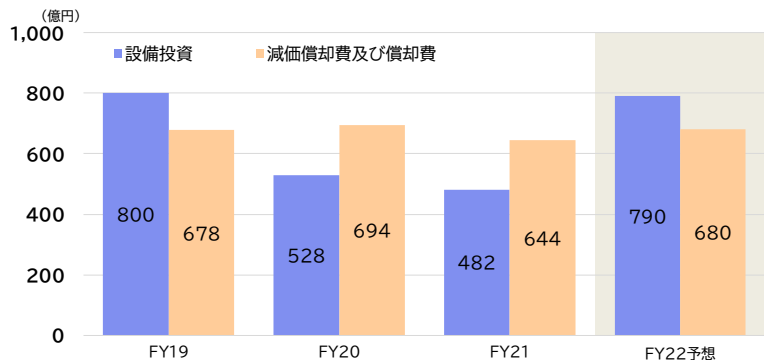
- マニュファクチャリングソリューションズは、中国市場の減速を織り込む
- マイクロデバイス他は、さまざまな用途の需要を捉えているものの、PC・スマートフォンなどの民生市場が軟調で、販売数量の減少を見込む

^{*2} ICハンドラー事業は2021年4月に譲渡

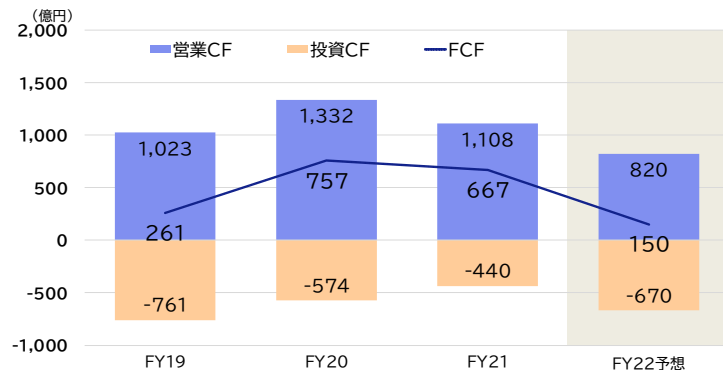
研究開発費



設備投資・減価償却費及び償却費



フリー・キャッシュ・フロー



主要経営指標	FY19 実績	FY20 実績	FY21 実績	FY22 予想	FY23 目標	FY25 目標
為替レート:USD	108.74	106.01	112.37	137.00	-	-
為替レート:EUR	120.85	123.67	130.55	138.00	-	-
売上収益 (億円)	10,436	9,959	11,289	13,900	-	-
事業利益 (億円)	408	616	896	1,000	-	-
親会社の所有者に帰属する 当期利益 (億円)	77	309	922	820	-	-
ROS ^{*1}	3.9	6.2	7.9	7.2%	8%以上	10%以上
ROA ^{*2}	3.9	5.6	7.4	7.5%	-	-
ROE ^{*3}	1.5	5.9	15.2	11.7%	10%以上	13%以上
ROIC ^{*4}	4.1	5.6	7.3	7.5%	8%以上	11%以上

*1 売上収益事業利益率=事業利益/売上収益

*2 資産合計事業利益率=事業利益/期首・期末資産合計平均

*3 親会社所有者帰属持分当期利益率=親会社の所有者に帰属する当期利益/期首・期末親会社の所有者に帰属する持分平均

*4 投下資本利益率=税引後事業利益/(親会社の所有者に帰属する持分+有利子負債)

親会社の所有者に帰属する持分および有利子負債は期首・期末平均

■ 基本方針

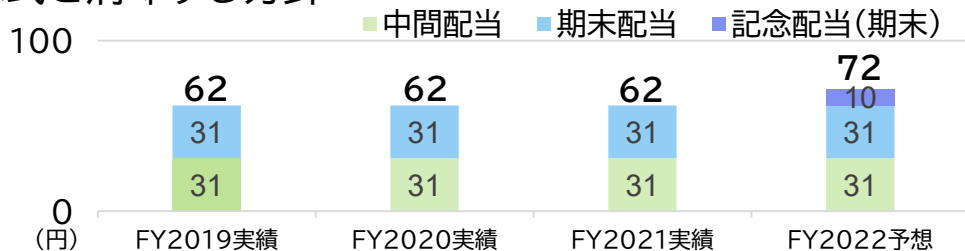
- 強固な財務構造の構築と、積極的な利益還元と並行して取り組む
 - ✓ 中期的には連結配当性向*40%程度を目標 * 事業利益から法定実効税率相当額を控除した額を元に算出
 - ✓ 株価水準や資金の状況などを総合的に勘案し、必要に応じて機動的に自己株式を取得

■ 自己株式取得

- 取得期間:2022年5月20日~2023年5月19日
- 取得価額の総額:300億円(上限)
 - ✓ 2022年9月末の進捗状況:32.66%
 - ✓ 期間内に取得する自己株式は全株式を消却する方針

■ 配当実績・予想

- 創業80周年記念配当10円を加え年間配当を72円に増額



- ご説明のポイント
- 第2四半期実績
- 2022年度通期業績予想・株主還元
- **トピックス**

- インクジェットプリントヘッド生産能力増強のため、秋田エプソンに新棟を建設
 - 中長期的なIJP(大容量インクタンクモデルやプリントヘッド外販)の需要増加に対応
 - 2022年11月 建設開始、2023年12月 竣工予定



秋田エプソンの新棟(イメージ)

- 『インクジェット イノベーションラボ富士見』をリニューアル
 - インクジェットによる新たなものづくりを目指すパートナーとの共創拠点
 - インクジェット立体物印刷装置を新たに設置、プリントヘッドを使った実験環境を整備



イノベーションラボ富士見(イメージ)

「省・小・精」から生み出す価値で 人と地球を豊かに彩る

エプソンは、豊かな自然や文化に恵まれた信州で誕生しました。

そんな私たちが抱き続けてきたもの、それは「省・小・精」の技術で、人々の暮らしを豊かにしたいという想い、そして、自然の豊かさを守り、未来へつないでいきたいという強い想いです。

これまで世界に先駆けてフロンを撤廃するなど、つねに社会課題に目を向け、誠実に取り組んできました。

そのなかで追求してきたエプソン独自の「省・小・精」。

大きいこと、量が多いことだけが豊かさではない。省くこと、小さくすること、精緻さを突き詰めること、これこそが、自然環境にやさしく、人々のこころを豊かにできるものだと信じています。

「省・小・精」から生み出す、より大きな価値で、人と地球を豊かに彩っていきたい。

私たちは、そんな想いを実現していきます。

EPSON
EXCEED YOUR VISION

補足資料

2022年度 第2四半期累計実績 | ハイライト

	2021年度		2022年度		前年同期比	
	(億円) Q2累計実績	%	Q2累計実績	%	増減額	増減率
売上収益	5,505		6,331		+825	+15.0%
事業利益	497	9.0%	495	7.8%	-2	-0.4%
営業利益	481	8.7%	591	9.3%	+110	+22.9%
税引前利益	478	8.7%	717	11.3%	+238	+49.9%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	364	6.6%	503	8.0%	+138	+38.0%
EPS*1 (円)	105.49		146.00			
為替レート (円、指数)	USD	¥109.77	¥133.97			
	EUR	¥130.84	¥138.70			
	その他通貨*2	100	117			

為替影響額 (億円)	USD	EUR	その他通貨 合計	合計
売上収益	+405	+55	+282	+743
事業利益	-112	+34	+129	+51

*1 EPS:基本的1株当たり当期利益

*2 その他通貨の各レートを為替ボリュームに応じて
加重平均した値について、前年同期を100とした指数

2022年度 第2四半期累計実績 | プリンティングソリューションズ

(億円)

プリンティングソリューションズ	2021年度 Q2累計	2022年度 Q2累計	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	3,755	4,131	+375	+490	+10.0%
セグメント利益	550	397	-153	-1	-27.8%
セグメント利益率	14.7%	9.6%			

オフィス・ホームプリンティング	2021年度 Q2累計	2022年度 Q2累計	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	2,670	2,943	+273	+352	+10.2%
オフィス・ホームIJP(SOHO・ホームIJP)	2,068	2,338	+269		+13.0%
オフィス・ホームIJP(オフィス共有IJP)	249	267	+18		+7.4%
その他*	352	337	-14		-4.2%
事業利益	335	266	-69	-26	-20.7%
事業利益率	12.6%	9.0%			

*スキャナー、SIDM、LP、オフィス製紙機など

商業・産業プリンティング	2021年度 Q2累計	2022年度 Q2累計	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	1,086	1,188	+102	+137	+9.4%
商業・産業IJP	771	836	+65		+8.5%
小型プリンター他	314	351	+37		+11.8%
事業利益	215	131	-83	+24	-39.0%
事業利益率	19.8%	11.1%			

2022年度 第2四半期累計実績

ビジュアルコミュニケーション
マニファクチャリング関連・ウェアラブル

EPSON
EXCEED YOUR VISION

(億円)

ビジュアルコミュニケーション	2021年度 Q2累計	2022年度 Q2累計	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	806	1,091	+285	+141	+35.4%
セグメント利益	92	191	+98	+9	+107.3%
セグメント利益率	11.4%	17.5%			

(億円)

マニファクチャリング関連 ・ウェアラブル	2021年度 Q2累計	2022年度 Q2累計	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	954	1,132	+177	+119	+18.7%
マニファクチャリングソリューションズ*	167	174	+7		+4.3%
ウェアラブル機器	173	196	+22		+13.2%
マイクロデバイス他	544	686	+141		+26.1%
PC	84	96	+12		+14.4%
事業間売上収益	-14	-20	-5		-
セグメント利益	113	180	+67	+47	+59.2%
セグメント利益率	11.9%	15.9%			

* ICハンドラー事業は2021年4月に譲渡

主要商品の販売動向

			FY2021 Q1 実績	FY2021 Q2 実績	FY2021 Q3 実績	FY2021 Q4 実績	FY2021 通期 実績	FY2022 Q1実績	FY2022 Q2実績	FY2022 通期 予想	
*社内管理値に基づく指標 伸長率は前年同期比			USD	109.46	110.08	113.71	116.21	112.37	129.64	138.30	137.00
			EUR	131.91	129.77	130.08	130.45	130.55	138.11	139.28	138.00
オフィス・ホーム プリンティング	オフィス・ホーム IJP 本体	売上収益(円貨)	伸長率	+85%	+20%	+10%	+10%	+25%	+9%	+31%	+33%
		売上収益(現地通貨)	伸長率	+74%	+14%	+3%	+4%	+18%	-4%	+12%	
		本体数量	伸長率	+63%	+4%	-8%	-5%	+8%	-19%	-1%	+8%
		本体数量	万台					約1,670			約1,800
		内 大容量インクタンクモデル	万台					約1,160			約1,330
		内 SOHO・ホーム向けI/Cモデル	万台					約480			約440
		内 オフィス共有IJP	万台					約30			約30
	オフィス・ホーム IJP インク	インク売上収益比率 インク÷(本体+インク)	構成比					41%			36%
		売上収益(円貨)	伸長率	-7%	-4%	-2%	+6%	-2%	+3%	+3%	+8%
		売上収益(現地通貨)	伸長率	-11%	-7%	-6%	+1%	-6%	-6%	-9%	
ビジュアル コミュニケーション	プロジェクター 本体	売上収益(円貨)	伸長率	+72%	+7%	+6%	-12%	+12%	+13%	+60%	+39%
		売上収益(現地通貨)	伸長率	+60%	+1%	-2%	-17%	+5%	+0%	+37%	
		本体数量	伸長率	+67%	-2%	-5%	-25%	+2%	-3%	+22%	+9%
		本体数量	万台					約170			約190

財務データ(2021年度・2022年度)

		(億円)									
		FY2021 Q1 実績	FY2021 Q2 実績	FY2021 Q3 実績	FY2021 Q4 実績	FY2021 実績	FY2022 Q1 実績	FY2022 Q2 実績	FY2022 Q3 実績	FY2022 Q4 実績	FY2022 予想
為替レート (円)	USD	109.46	110.08	113.71	116.21	112.37	129.64	138.30			137.00
	EUR	131.91	129.77	130.08	130.45	130.55	138.11	139.28			138.00
プリンティングソリューションズ		売上収益	1,923	1,832	2,053	1,990	7,799	1,976	2,155		9,500
		セグメント利益	266	283	308	205	1,064	210	186		1,030
オフィス・ホームプリンティング	売上収益	1,371	1,298	1,503	1,490	5,663	1,431	1,511		6,890	
	事業利益	147	187	229	165	730	164	101		670	
商業・産業プリンティング	売上収益	551	534	550	500	2,136	545	643		2,610	
	事業利益	119	96	79	39	333	46	85		360	
ビジュアルコミュニケーション		売上収益	407	399	436	346	1,590	456	635		2,180
		セグメント利益	44	47	40	21	153	64	127		250
マニファクチャリング関連・ウェアラブル		売上収益	495	458	474	491	1,919	560	572		2,260
		セグメント利益	56	56	61	56	230	86	94		310
全社費用・その他、調整額		売上収益	-4	-6	-2	-6	-20	-14	-10		-40
		セグメント利益	-126	-132	-137	-155	-552	-134	-139		-590
連結合計		売上収益	2,821	2,684	2,961	2,821	11,289	2,978	3,352		13,900
		事業利益	242	254	272	126	896	226	268		1,000
		ROS	8.6%	9.5%	9.2%	4.5%	7.9%	7.6%	8.0%		7.2%
研究開発費			113	117	113	115	460	109	113		500
設備投資	プリンティングソリューションズ		51	60	64	107	284	78	92		460
	ビジュアルコミュニケーション		9	9	9	13	41	14	13		80
	マニファクチャリング関連・ウェアラブル		14	21	32	45	113	17	30		160
	全社費用・その他		6	9	14	13	43	17	17		90
減価償却費	プリンティングソリューションズ		94	92	94	95	377	101	104		410
	ビジュアルコミュニケーション		26	25	25	25	103	27	26		100
	マニファクチャリング関連・ウェアラブル		21	21	21	22	87	23	24		100
	全社費用・その他		19	19	19	17	76	18	17		70
営業CF			213	349	310	234	1,108	-123	333		820
FCF			98	244	213	110	667	-309	186		150

海外売上収益・従業員数

海外売上収益

為替レート(円)	USD	107.54	106.16	104.48	105.86	109.46	110.08	113.71	116.21	129.64	138.30
	EUR	118.39	124.10	124.51	127.68	131.91	129.77	130.08	130.45	138.11	139.28

売上収益(億円)	FY20/Q1	FY20/Q2	FY20/Q3	FY20/Q4	FY21/Q1	FY21/Q2	FY21/Q3	FY21/Q4	FY22/Q1	FY22/Q2	対前年同期
米州	598	719	733	827	852	801	810	862	1,000	1,115	+313
欧州	397	500	587	598	583	571	623	617	573	683	+111
アジア・オセアニア	495	739	797	749	868	789	844	772	884	1,005	+216
海外売上収益計	1,490	1,959	2,119	2,175	2,304	2,162	2,278	2,252	2,457	2,804	+642
連結合計	1,932	2,459	2,788	2,779	2,821	2,684	2,961	2,821	2,978	3,352	+668

構成比	FY20/Q1	FY20/Q2	FY20/Q3	FY20/Q4	FY21/Q1	FY21/Q2	FY21/Q3	FY21/Q4	FY22/Q1	FY22/Q2
米州	31.0%	29.3%	26.3%	29.8%	30.2%	29.9%	27.4%	30.6%	33.6%	33.3%
欧州	20.6%	20.4%	21.1%	21.5%	20.7%	21.3%	21.0%	21.9%	19.2%	20.4%
アジア・オセアニア	25.6%	30.1%	28.6%	27.0%	30.8%	29.4%	28.5%	27.4%	29.7%	30.0%
海外売上収益計	77.2%	79.7%	76.0%	78.3%	81.7%	80.6%	76.9%	79.8%	82.5%	83.7%

従業員数

期末従業員数(人)	2020/6末	2020/9末	2020/12末	2021/3末	2021/6末	2021/9末	2021/12末	2022/3末	2022/6末	2022/9末	対前年同期
国内	19,962	19,723	19,620	19,470	19,827	19,805	19,788	19,705	20,128	20,131	+326
海外	57,107	59,287	62,618	60,474	60,813	60,000	59,917	57,937	59,887	62,742	+2,742
連結合計	77,069	79,010	82,238	79,944	80,640	79,805	79,705	77,642	80,015	82,873	+3,068

ESG インデックス 組み入れ・ 格付け

- FTSE4Good Index Series : 19年連続
- FTSE Blossom Japan Index : 6年連続
- FTSE Blossom Japan Sector Relative Index: 初選定
- MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数 : 初選定
- MSCI日本株女性活躍指数 (WIN) : 6年連続
- S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数 : 5年連続
- SOMPOサステナビリティ・インデックス : 11年連続
- CDP企業調査「Aリスト」企業 (分野:気候変動・水セキュリティ) : 2年連続
- CDP「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー・ボード」 : 3年連続
- EcoVadis社のサステナビリティ評価「プラチナ」 : 3年連続
- 日本政策投資銀行(DBJ)環境格付け融資「ランクA」 : 初選定

ESG 関連表彰・ 銘柄選定

- 第3回日経SDGs経営調査「SDGs経営」総合ランキング最高位 : 2021年11月
- 第3回日経SDGs経営大賞「環境価値賞」 : 2021年11月
- 第3回ESGファイナンス・アワード・ジャパン 環境サステナブル企業部門「銀賞」 : 2022年2月
- 健康経営銘柄2022(電気機器業界1位)* : 2022年3月
- 日経225 : 2017年から選定

GPIFが採用する ESG国内指数5件全てに選定



FTSE Blossom
Japan



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

2022 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数

2022 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

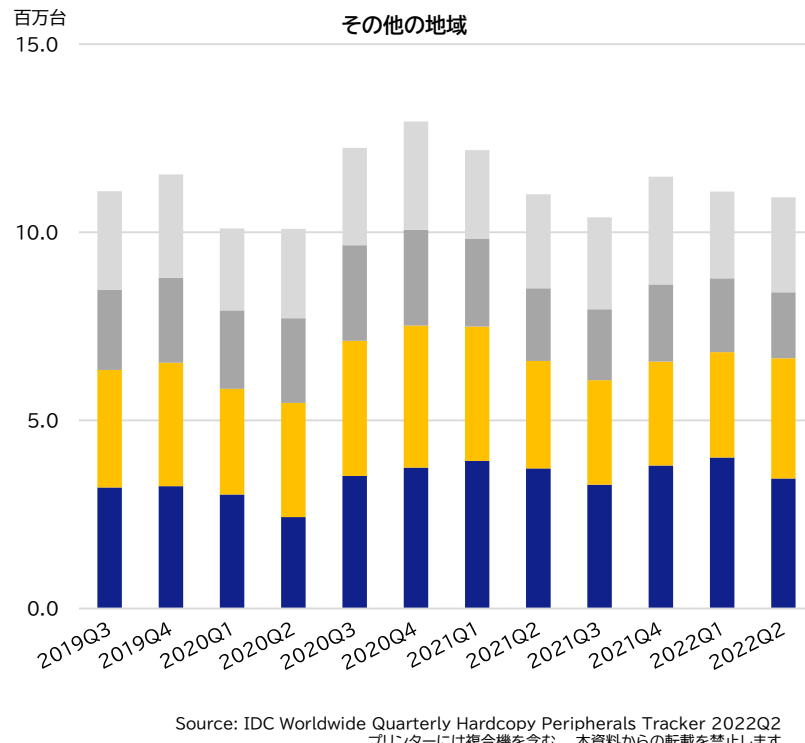
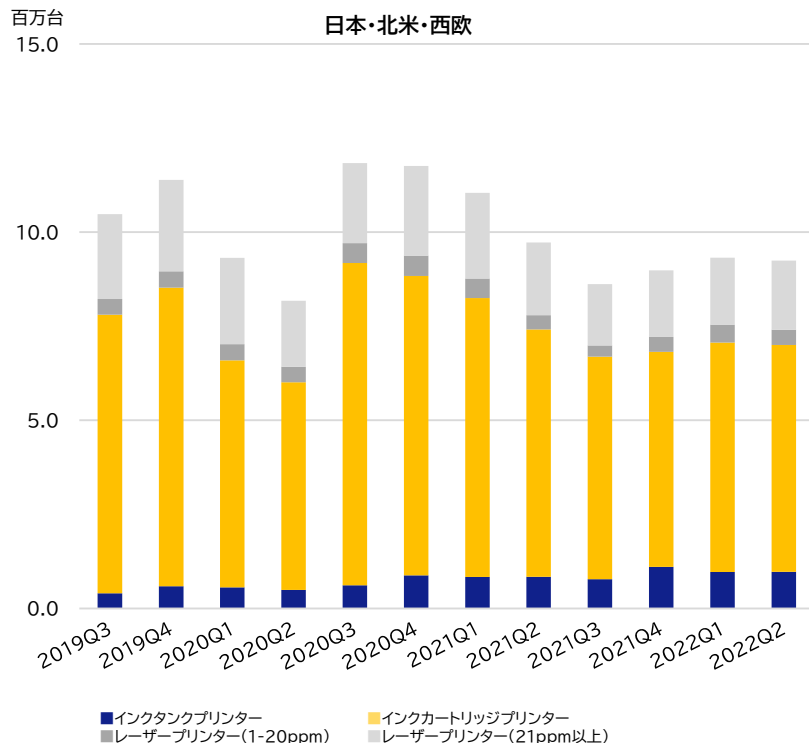


緑字:2022年4月以降に選定

* 健康経営の目的・体制 <https://corporate.epson/ja/sustainability/our-people/health-and-productivity.html>

イノベーション	オフィス・ホーム プリンティング イノベーション	商業・産業 プリンティング イノベーション	ビジュアル イノベーション	マニファクチャリング イノベーション	ライフスタイル イノベーション		
セグメント	プリンティングソリューションズ		ビジュアル コミュニケーション	マニファクチャリング関連・ウェアラブル			
事業 ・ 主要商品	オフィス・ホームプリンティング	商業・産業プリンティング	プロジェクター	マニファクチャリング ソリューションズ	ウェアラブル機器	マイクロ デバイス他	PC
	<p>オフィス・ホームIJP</p> <p>SOHO・ホーム</p> <p>大容量インクタンクモデル インクカートリッジモデル</p> <p>オフィス共有</p> <p>大容量インクパックモデル (RIPS)</p> <p>高速 ラインインクジェット 複合機 (LII)</p> <p>オフィス向け インクカートリッジ モデル</p> <p>SIDM</p> <p>スキャナー</p> <p>乾式オフィス製紙機</p> <p>レーザープリンター</p>	<p>商業・産業IJP</p> <p>完成品ビジネス</p> <p>フォト</p> <p>コーポレート</p> <p>サイネージ</p> <p>ラベルプリンター</p> <p>テキスタイル</p> <p>ラベル印刷機</p> <p>プリントヘッド外販ビジネス</p> <p>IJPプリントヘッド、インク</p> <p>小型プリンター他</p> <p>小型プリンター</p> <p>小型ラベルプリンター</p>	<p>高光束</p> <p>超短焦点</p> <p>スタンダード</p> <p>ホーム</p> <p>小型 ライティング</p> <p>スマートグラス</p>	<p>ロボット</p> <p>スカラ</p> <p>6軸</p> <p>オプション</p> <p>小型射出成形機</p>	<p>エプソンブランド</p> <p>TRUME</p> <p>オリエント</p> <p>ムーブメント</p> <p>セイコービジネス</p>	<p>マイクロデバイス</p> <p>水晶デバイス</p> <p>半導体</p> <p>微細合金粉末</p> <p>表面処理加工</p>	<p>エプソンドイレクト PC</p>
	<p>高速 ラインインクジェット 複合機 (LII)</p> <p>オフィス向け インクカートリッジ モデル</p>	<p>テキスタイル</p> <p>ラベル印刷機</p>	<p>スタンダード</p>	<p>6軸</p>	<p>オリエント</p>	<p>半導体</p>	<p>エプソンドイレクト PC</p>
	<p>乾式オフィス製紙機</p> <p>レーザープリンター</p>	<p>小型プリンター</p> <p>小型ラベルプリンター</p>	<p>スマートグラス</p>	<p>小型射出成形機</p>	<p>セイコービジネス</p>	<p>表面処理加工</p>	<p>エプソンドイレクト PC</p>

A4サイズプリンターのタイプ別市場推移(暦年)



I/C	Ink Cartridge, インクカートリッジ
IJP	Inkjet Printer, インクジェットプリンター
LIJ	Line Inkjet Printer, 高速ラインインクジェット複合機
LP	Laser Printer, レーザープリンター(複合機含む)
RIPS	Replaceable Ink Pack System, 大容量インクパックモデル
大容量インクタンクモデル	エコタンク搭載インクジェットプリンター
大容量インクモデル	大容量インクタンクモデル、大容量インクパックモデル(RIPS)、高速ラインインクジェット(LIJ)の総称
SOHO	Small Office Home Office, 小規模オフィス・ホームオフィス
オフィス共有IJP	商品カテゴリーの1つ。高プリントボリュームオフィス向けプリンター。I/Cモデル,RIPS,LIJを含む
商業・産業IJP完成品ビジネス	商業・産業用大判インクジェットプリンター本体・インク・サービスなどを含む
プリントヘッド外販ビジネス	プリントヘッド、インクなどを含む
Epson Connect	エプソンの商品・サービスを対象としたモバイル・クラウドサービス
Color Control Technology	商業・産業印刷における色再現性を高めるカラーマネジメント技術
分散印刷	同一内容の印刷データを複数のプリンターを用いて印刷する方法
SIDM	Serial Impact Dot Matrix Printer
3LCD	プロジェクター方式の1つ。液晶パネル3枚を使う方式
高光束プロジェクター	交換レンズ機能付き高輝度プロジェクター
FPD	Flat Panel Display, フラットパネルディスプレイ
OLED	Organic Light Emitting Diode(有機EL)
WP	ウェアラブル機器事業
MD他	マイクロデバイス他事業

EPSON
EXCEED YOUR VISION